

平成23年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年5月6日

上場会社名 株式会社 きちり

上場取引所 大

コード番号 3082 URL <http://www.kichiri.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平川 昌紀

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 葛原 昭

TEL 06-6244-5966

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第3四半期の業績(平成22年7月1日～平成23年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第3四半期	3,909	4.5	92	58.2	122	16.1	33	△37.7
22年6月期第3四半期	3,741	1.1	58	24.9	105	117.6	53	877.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第3四半期	4,122.25	4,057.27
22年6月期第3四半期	6,593.32	6,576.38

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第3四半期	3,072	759	24.4	93,232.19
22年6月期	2,694	732	26.9	88,844.67

(参考) 自己資本 23年6月期第3四半期 749百万円 22年6月期 724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年6月期	—	0.00	—	—	—
23年6月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年6月期の業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,289	5.9	131	95.6	157	27.1	57	37.4	7,000.85

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- | | | | | |
|---------------------|----------|--------|----------|--------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 23年6月期3Q | 8,152株 | 22年6月期 | 8,152株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年6月期3Q | 114株 | 22年6月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 23年6月期3Q | 8,117株 | 22年6月期3Q | 8,152株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、P. 3「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(第3四半期会計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、アジアをはじめとする海外経済の改善と国内景気刺激政策効果を背景に、緩やかな回復基調の動きがみられたものの、四半期末に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、電力供給の制約やサプライチェーンの寸断による生産活動の低下、また個人消費の停滞も懸念され、国内経済の先行きは不透明な状況となっております。

外食業界におきましては、個人消費の緩やかな改善により来客数に持ち直しが見られたものの、震災の影響による企業の宴会自粛や、関東圏における計画停電などによる消費者意識の冷え込みから、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は”おもてなし”の徹底と、高品質な料理の提供により、お客様に納得感と満足感のあるサービスを提供し続けて参りました。また、「Casual Dining」業態において、グローバル旗艦店として「KICHIRI新宿」をオープンし、関西圏においても大型ターミナル駅である天王寺にオープンしております。加えて、好評の「いしがまやハンバーグ」に引き続き、新たなブランドとして、お洒落で便利なカフェ「エキカフェ」をJR新大阪駅構内にオープンし、企業価値の更なる拡大に努めております。

しかしながら、震災の影響による消費低迷の影響を受け、当第3四半期累計期間の売上高は3,909百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は92百万円（前年同期比58.2%増）、経常利益は122百万円（前年同期比16.1%増）、四半期純利益は33百万円（前年同期比37.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は3,072百万円となり、前事業年度末と比較して378百万円増加しております。

流動資産合計は761百万円となり、前事業年度末と比較して165百万円増加しております。主な要因は、現金及び預金が124百万円増加したことに加え、商業施設内店舗の増加に伴う預け金の増加20百万円の他、店舗数増加による棚卸資産の増加4百万円によるものであります。

固定資産合計は2,310百万円となり、前事業年度末と比較して212百万円増加しております。主な要因は、減価償却及び減損損失の計上により209百万円減少したものの、新規店舗出店及び店舗改装等に伴う有形固定資産の増加389百万円に加え、差入保証金の増加35百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は2,312百万円となり、前事業年度末と比較して351百万円増加しております。

流動負債合計は1,217百万円となり、前事業年度末と比較して304百万円増加しております。主な要因は、新規店舗出店等に伴う未払金の増加206百万円、賞与制度導入による賞与引当金の増加17百万円、収益拡大に伴う未払法人税等の増加22百万円、1年内返済予定の長期借入金が34百万円増加したことによるものであります。

固定負債合計は1,095百万円となり、前事業年度末と比較して46百万円増加しております。主な要因は、借入金の返済により長期借入金が368百万円減少したことに加え、長期前受収益が27百万円減少したものの、新規店舗出店等により長期借入金が450百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は759百万円となり、前事業年度末と比較して27百万円増加しております。主な要因は、自己株式の取得により8百万円減少したものの、四半期純利益33百万円の計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較し124百万円増加し、516百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、キャッシュ・フローは282百万円の増加となりました。主な要因は、法人税等の支払いにより16百万円の資金減少があったものの、税引前四半期純利益76百万円の計上に加え、減価償却費187百万円、減損損失21百万円の計上により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、キャッシュ・フローは196百万円の減少となりました。主な要因は、関係会社株式の取得による支出10百万円に加え、新規店舗出店及び店舗改装等による有形固定資産の取得による支出104百万円及び差入保証金の差入による78百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、キャッシュ・フローは39百万円の増加となりました。要因としては、長期借入金の返済による支出368百万円及びリース債務の返済による支出33百万円に加え、自己株式の取得により8百万円の支出があったものの、新規店舗出店等により長期借入金450百万円の資金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年6月期(平成22年7月1日～平成23年6月30日)の業績予想につきましては、平成23年2月7日付「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(「資産除去債務に関する会計基準」等の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益がそれぞれ11百万円減少し、税引前四半期純利益は27百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は6百万円であり、差入保証金の変動額は15百万円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	516,388	391,496
売掛金	59,090	57,242
原材料及び貯蔵品	36,537	32,003
その他	153,827	115,206
貸倒引当金	△4,000	—
流動資産合計	761,844	595,949
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,253,603	1,117,824
その他（純額）	236,496	189,887
有形固定資産合計	1,490,100	1,307,711
無形固定資産	12,002	14,467
投資その他の資産		
差入保証金	695,909	660,540
その他	116,582	115,483
貸倒引当金	△4,000	—
投資その他の資産合計	808,491	776,024
固定資産合計	2,310,595	2,098,204
資産合計	3,072,439	2,694,154
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,920	122,203
1年内返済予定の長期借入金	483,232	448,756
未払法人税等	41,895	19,854
賞与引当金	17,807	—
資産除去債務	4,570	—
その他	536,794	322,215
流動負債合計	1,217,219	913,029
固定負債		
長期借入金	825,653	778,742
その他	269,774	269,717
固定負債合計	1,095,427	1,048,459
負債合計	2,312,647	1,961,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,171	360,171
資本剰余金	320,171	320,171
利益剰余金	77,379	43,918
自己株式	△8,321	—
株主資本合計	749,400	724,261
新株予約権	10,391	8,403
純資産合計	759,792	732,664
負債純資産合計	3,072,439	2,694,154

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)
売上高	3,741,064	3,909,905
売上原価	1,019,719	1,051,599
売上総利益	2,721,345	2,858,306
販売費及び一般管理費	2,662,740	2,765,620
営業利益	58,604	92,685
営業外収益		
受取利息	0	1
協賛金収入	49,376	38,346
その他	9,630	6,125
営業外収益合計	59,007	44,473
営業外費用		
支払利息	11,502	10,185
貸倒引当金繰入額	—	4,000
その他	950	900
営業外費用合計	12,452	15,086
経常利益	105,160	122,073
特別損失		
固定資産除却損	0	1,572
減損損失	—	21,731
店舗閉鎖損失引当金繰入額	2,850	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,907
災害による損失	—	6,251
特別損失合計	2,850	45,462
税引前四半期純利益	102,310	76,610
法人税、住民税及び事業税	5,128	44,080
法人税等調整額	43,432	△929
法人税等合計	48,561	43,150
四半期純利益	53,748	33,460

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
売上高	1,267,929	1,234,774
売上原価	349,730	333,689
売上総利益	918,199	901,085
販売費及び一般管理費	895,476	907,943
営業利益又は営業損失(△)	22,723	△6,858
営業外収益		
受取利息	0	0
協賛金収入	31,974	17,862
その他	1,765	2,450
営業外収益合計	33,740	20,313
営業外費用		
支払利息	4,144	2,980
貸倒引当金繰入額	—	2,000
その他	680	413
営業外費用合計	4,824	5,393
経常利益	51,639	8,061
特別損失		
固定資産除却損	—	0
災害による損失	—	6,251
特別損失合計	—	6,251
税引前四半期純利益	51,639	1,810
法人税、住民税及び事業税	1,747	△7,406
法人税等調整額	24,454	9,134
法人税等合計	26,201	1,728
四半期純利益	25,438	82

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	102,310	76,610
減価償却費	177,117	187,281
長期前払費用償却額	7,980	6,018
減損損失	—	21,731
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,683	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	8,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	17,807
受取利息	△0	△1
支払利息	11,502	10,185
貸倒損失	—	4,582
固定資産除却損	0	1,572
災害損失	—	6,251
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,907
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,723	△1,847
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,787	△4,533
仕入債務の増減額 (△は減少)	19,922	9,517
未収入金の増減額 (△は増加)	△22,014	△4,159
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△23,148	△10,852
未払金の増減額 (△は減少)	△1,225	9,908
未払費用の増減額 (△は減少)	8,458	2,476
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,064	△23,321
その他の負債の増減額 (△は減少)	150,441	△39,585
その他	9,919	14,090
小計	408,003	307,638
利息の受取額	0	1
利息の支払額	△11,465	△10,224
契約解約金の支払額	△93,405	—
災害損失の支払額	—	△920
法人税等の支払額	△6,244	△16,345
法人税等の還付額	21,284	2,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	318,173	282,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	—	△10,000
出資金の回収による収入	10	—
有形固定資産の取得による支出	△218,007	△104,537
無形固定資産の取得による支出	△7,590	—
長期前払費用の取得による支出	—	△1,450
差入保証金の差入による支出	△63,233	△78,670
差入保証金の回収による収入	9,790	8,634
貸付けによる支出	—	△8,000
資産除去債務の履行による支出	—	△2,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△279,029	△196,573

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△330,228	△368,613
リース債務の返済による支出	△19,967	△33,870
自己株式の取得による支出	—	△8,363
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,195	39,152
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△11,052	124,891
現金及び現金同等物の期首残高	433,854	391,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	422,802	516,388

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社の報告セグメントは、「飲食事業」及び「通販事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、「通販事業」の相対的割合が非常に低く、セグメント情報の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。